

# 21世紀のまちづくり

## ～日本再生プログラム～

(Ver.1)

平成24年10月13日

特定非営利  
活動法人

日本再生プログラム推進フォーラム

地域のひな型研究会

# 日本再生プログラムの概要

物質文明は極限に達した「行き過ぎ」から戻ってやり直すという発想で！

このままでは持続できない、破局を避けることは出来ない  
**震災と時代認識を踏まえた内需中心の持続的成長を！**

個性・所得と雇用・質と熟練  
地域自給・低エネルギー  
新しい公共

本物志向  
21世紀の教育  
少子高齢化問題の克服を

**【理念】偉大なる共生社会の創造-共生とは進化なり-**  
(持続可能性 = 共生 × 進化)

**【ビジョン】21世紀世界初「戦略的低エネルギー社会」の建設**

先祖の財産や知恵を生かしながら、家族や隣近所はもちろん、ほかの国々、あらゆる動植物、地球、過去と未来とも共生できる「絆」を保ち、また、常に融合・進化する。

持続可能性  
和の国・日本（大和）  
100億人を養う世界を

個性が究極の競争力

**【イメージ】『光に満ちた日本』『森に浮かぶ国、日本』**

**【懐かしい未来】昭和30年代の日本を一つの手本に(+進化)**  
街にも村にも懐かしい光が満ち、人々はその土地の自然と衣食住を満喫しながら光り輝き、家族と地域を大切に和気あいあいと暮らしている。

新しい科学技術

リーダーシップ

**第二の城下町=まちづくりを！**

**産業・仕事・雇用**  
まちを創る過程で、技術・哲学・ノウハウを開発

**景観優先のまちづくり**  
土地の気候風土・生業・素材とのマッチング

新しい日本文化

世界からの期待

## 国家運営

- ・小規模分散型システム
- ・平成版日本興業銀行
- ・中負担・中サービスの地域経営
- ・脱原発と再生可能エネルギー
- ・ウィンウィンの逞しい外交
- ・日本列島の大掃除
- ・地域再生特区制度の創設

## 地域の再生方策

- ・民政自治で『第二の城下町』
- ・地域再生特区を活用
- ① **地域の大掃除**
- ② **産業おこし**（観光立国、新しい農業と産業）
- ③ **地域ごとの教育**
- ・絵巻で示される活動の実践

新しい時代づくりの起爆剤

# 日本再生プログラム その背景

1

## はじめに

このままでは私たちの社会は持続できない、破局を避けることは出来ない

### 未曾有の大震災から学ぶこと⇒今が変わるチャンス

- ・災害の危険性のない暮らしを
- ・未知なるものへの畏敬の念
- ・大量輸送に頼らず地産地消を
- ・元気で豊かなコミュニティを
- ・戦略的低エネルギーへの挑戦、そしてその実現を・

### 震災は、時代の流れを加速させた

- ・衰退しつつあった地域が加速度的に衰退するか。
- ・新しい時代に向けての可能性を劇的に伸ばすことができるか。
- ・震災からの復興は「21世紀らしいまちづくり」を促進。

### 21世紀らしいまちづくり

- ・不安定なエネルギー供給や流通で不便を被るより、劇的な低エネルギー生活と、安心な地産地消の実現に取り組んだ方が、苦勞の甲斐がある。
- ・しかも、環境に優しく自然災害とも無縁の国土利用の推進で、私たちは「健康で持続可能性の高い生活」を手に入れることができる。
- ・地域における究極の競争力である「個性」を、発展の原動力に。

過去を踏まえ、今という時代を再定義し、未来への方向性を地域全体で合意し、  
**新しい地域づくりに取り組むべき時は、まさに今！**

## 時代認識

### 新しい国づくりに向けての時代認識

- ・政治経済が本格的に行き詰まった今、日本はどうすべきか？
- ・既存の組織は動けない。既存の組織には頼れない。  
既存組織を脱却し、自分たちで国づくりを！

### 日本本来の国づくりを！

- ・日本は本来、『お国柄』で国づくりを進め、国を治めた。
- ・官治ではなく、日本古来の民政自治、第二の城下町づくりを！  
自分たちで国づくりを！=村の自治！

### 新しい国づくりへ向けての基本的な認識

### 物質文明は極限まで行きついた

- ・成長志向から選択の時代へ。
- ・物質文明と精神文明の融合と 相乗効果を。

### 行き過ぎから戻ってやり直すという発想で

- ・以前の状態には二度と戻れない、という覚悟で！
- ・新しい文明を創出しよう！

### 新しい社会の潮流

- ・世界最適生産・最適調達から、地域・民族ごとの個性化へ。
- ・金融と市場原理主義から、雇用が第一へ。
- ・生産と消費から、所得と雇用へ。
- ・量・即戦力から、質・熟練へ。
- ・安価で大量の世界調達から、地域自給と戦略的低エネルギーへ。
- ・官と民の対峙の時代から、新しい公共へ。

**震災と時代認識を踏まえた内需中心の持続的成長を！**

# 日本再生の理念（100年ビジョン）

## 本物とは

本物は、  
消耗品ではなく、蓄財。  
直して使う。  
本物を作る人は、  
すなわち、熟達職業人。

21世紀は「持続可能性」が大切

**持続可能性 = 共生 × 進化**

時代を越えて存在し続ける本物

## 持続可能性

人・モノ・地球・時代(過去と未来)・物質世界と精神世界との共生による進化は、健康で持続可能性を高め(ロハス的)、破局を避けることを可能にする。

## 21世紀の教育

- ・ 恒心  
(常に持つ正しい心)  
(善悪の分かる心)
- ・ 個の花を咲かせる
- ・ チームワーク
- ・ ヨコ型リーダーシップ
- ・ 熟達職業人(一人一芸)

## 偉大なる共生社会の創造

-共生とは進化、進化とはバージョンアップなり-

**【大切なこと】健康と持続可能性が高いこと**

健康や持続可能性を重視するライフスタイル=ロハス  
(破局を避けることが可能な社会へ=進化)

「健康」：いつまでも「元気」でいること。生涯現役で  
過ごせるように元気を保つこと。

「持続可能性」：今ここにいる自分だけではなく、子孫も  
元気で暮らせるように環境を守ること。

先祖の財産や知恵を生かしながら、家族や隣近所はもちろん、  
ほかの国々、あらゆる動植物、地球、過去と未来とも共生でき  
る「絆」を保ちながら、常に融合・進化する。

## 和の国・日本(大和)

- ・ 足し算の文化。
- ・ 異文化を取り込む。  
古代日本×東洋文化  
×西洋文化×未来
- ・ 他のもの、異なるもの、  
敵を味方に。
- ・ 1+1が3に。
- ・ 完成形はなく常に進化
- ・ 変わらぬ縦糸と、変化  
して組み直す横糸。

## 少子高齢化問題の克服を

安心して子供を増やすこ  
とが出来るとライフスタイルのひな型を示す

## 100億人を養う世界を

21世紀らしい資源活用、  
新しいライフスタイルの  
ひな型を示す

## 個性は究極の競争力

地域の独自性を活かす  
風土特色を活かした自立

- ・ 地産地消
- ・ 再生可能エネルギー

## 懐かしい未来(景観10年、風景100年、風土1000年)

過去との絆を持ち、過去から何かを吸収しているものは、未来にわたって存在し続け、見る者に感動を与える美しさがある。

## 21世紀世界初『戦略的低エネルギー社会』の建設

21世紀の風景「懐かしい未来」は、風土と融け合うものであるが、その陰にはナノテクや発酵技術などの最先端のスーパーテクノロジー、新素材が、快適な生活環境を提供する。低エネルギーでも、今まで以上の豊かさを享受できる。

## 新しい科学技術

スーパーテクノロジー  
と風土のハイブリッド

- ・ ナノテク、発酵技術
- ・ 素材革命 など

# 日本再生のイメージ

## 【「富貴のころ」より】

藤原直哉(理事長)著 1997年

- ・日本は農業と観光の国になっている。
- ・地球の温暖化によって東北、北海道で農業生産力が一段と高まり、新しい農業の中心地帯になっている。
- ・日本の農業は労働集約型で、いいものを少し食べるという日本人のライフスタイルに合った個性的な農業が中心である、農業の担い手は幅広い年齢層にわたっている。
- ・日本全国の観光地は、自然に親しむという観点から完全にリストラが終わっている。
- ・成田空港と関西空港から日本中の観光地へ外国人が迷うことなく移動できる体制が整っている、公共交通機関と道路の表示はすべて日本語と英語の二カ国語である。
- ・日本は仮想現実の世界を作る種となるリアリティを提供する国となっている。たとえば美しい自然とか、美味しい食べ物とか、0と1のコンピュータの世界では難しい曖昧性あふれる日本語とか……。したがってクリエイティブな仕事をする芸術家が世界中から日本に集まってくる。
- ・日本には世界各国からの外国人がたくさん住んでいて、彼らの多くは芸術家と研究者と教師である。一方、日本を訪問する外国人の多くは観光客である。
- ・ソフトウェアの開発は芸術家の仕事になっている。
- ・東京は世界中から芸術家が集まって世界に向けて芸術を発信する芸術発信都市になっている。
- ・大阪はアジアのビジネスセンターのひとつになっている。特にアジアで成功した人たちが住む憧れの場所になっている。
- ・沖縄はアジアの超高級リゾートになっていて、週末には東南アジアから多くの人たちが飛行機で訪れる。沖縄の米軍航空基地跡地は、海外からやってくる観光客用の飛行機の発着場やホテルなどの施設となっている。

## 【イメージ】(日本再生とは未来を具体的に創ること)

『光に満ちた日本』

『森に浮かぶ国、日本』

『自然と共にある国、日本』

健康と環境のことを大切にしながら、ずっとみんなで心豊かに過ごせる。昔ながらの「暮らし」そのもの。それは、究極の競争力である個性をベースにした、「懐かしい未来」。

街にも村にも懐かしい光が満ち、人々はその土地の自然と衣食住を満喫しながら光り輝き、家族と地域を大切に和気あいあいと暮らしている。

そこでは、いいものを少しずつ食べるという品の良さや、物を直しながら長く大切に使うという配慮の気持ちを取り戻している。

その土地ごとの自然、歴史、人が輝き、その光を浴びようと、人々が集まってくる。

## 【手本】昭和30年代の日本を一つの手本に(+進化)

(風景、エネルギー量として)

**風景**：低層の建物が主体で空が広く、遠くの自然がランドマーク※3丁目の夕日、トトロのイメージ

**環境**：小川のザリガニ、カエル。雑木林のカブトムシ、クワガタ、セミ、チョウ。路地裏での遊び。原っぱでの野球や缶けり。鎮守の杜や夏祭り。

**街の姿**：空間的コンパクト：短い通勤時間、日常生活拘束時間にゆとり。居住地選択の自由度の高さ。徒歩圏内にある多様な施設。

**機能**：自動車交通の制御可能。市民が楽しめる施設が多く、容易に建設し易い、機能が集積している(市民会館、博物館、美術館、図書館)。自然レクリエーションへの接近度が高い。独自の歴史や文化、伝統を大切にした、風土性豊かな街。

**進化**：土地条件を踏まえ、自然災害に縁のない国土利用。新素材等により、低エネルギーでも今より豊かに。

- ・日本の首都は東北の山中に移転している。
- ・京都と東北の新首都に皇居が設けられ、皇室の伝統的な儀式は京都で行い、現代的な外交儀式は新首都で行う体制が整っている。
- ・京都は皇室が伝統的な儀式を行う場所として大々的に再開発が行われ、伝統工芸の工房ができ、日本の伝統的な芸事のプロが集まり、リアリティあふれる歴史と伝統の町として再出発している。
- ・東京の皇居跡地は公園となり、永田町、霞が関から皇居まで、連続した巨大な公園となっていて、そこには、武蔵野の雑木林(自然の複雑性が見本)が大々的に復元されている。
- ・その雑木林の中には芸術的な仕事をする人たちのための独創的なアトリエがあちらこちらに設けられ、そこで仕事ができることが世界中の芸術家の憧れの的となっている。
- ・世界中に日本語を教える日本語学校があって、たいへんはやっている。
- ・日本国内には英語を教える英語学校があって、たいへんはやっている。
- ・日本人の半数は常に海外で生活したり働いている。
- ・義務教育は10年間に短縮され、それ以降の教育は年齢に関係なく、いつでも好きな教育を受けられるようになっている。社会人も学校へふつうに通う時代になっている。日本にはあらゆる種類の学校があり、海外に留学する人も飛躍的に増えている。
- ・日本の若物は国内の学校を卒業した後、一度は海外の学校に留学し、35~40歳頃まで海外で働くことが常識になっている。
- ・日本では車や電気器具をはじめとした耐久消費財、また衣料品や事務機など、腐らないものほとんどはリサイクルによって長期間使われる。また日本にはあらゆるものを改造して使うための改造ショップがたくさんある。
- ・日本の企業は、世界規模で活躍する大規模多国籍企業が展開するフランチャイズと、独創的な商品に絞ったり、営業範囲を狭く限った小規模企業の二極分化しており、消費者にとってはその両方を組み合わせることでとても安価かつ個性的で質の高い生活を行うことができるようになっている。

# 第二の城下町づくりで日本再生を！

日本国内の内需中心にした持続的成長のために

## 第二の城下町=まちづくりを！

新しいまちづくりを進めるために（発想と行動の大転換を）  
まず、日本列島の大掃除から！  
そして、地域再生特区を創設し、地域による主体的なまちづくりを

### 産業・仕事・雇用

まちを創る過程で、技術・哲学・ノウハウを開発し改良（開発し続けながらまちを創る）。これが全ての産業・雇用の振興に繋がる。

その地域に相応しいまちづくりで、独自の産業を（地域の強みが出るまちづくりは、独自の産業、独自の技術の発展に繋がる）。次の時代を創るプロジェクト・商品。

試行錯誤（失敗のコストは成功のリターンで賄う）。競争力の維持が持続につながる。

この技術・哲学・ノウハウを売ることで、まちづくりの資金を回収。

結果として内需中心の持続的経済発展と雇用の確保に。

### 景観優先のまちづくり

景観は、住んでいる人、生き物、何でも引き立たせる。

景観は、過去の歴史や財産(蓄財)。

景観は、思想や理想の表現（ある種の文明）。

風土に合った景観は美しく、低エネルギー。

土地の気候風土・生業・素材とのマッチング（土地の「気」を大切に）。

最も暮らしやすい環境づくり。

分散型ロハス、懐かしい未来へ

結果として人が集まる観光のまちへ。（その土地と人が輝く）

### リーダーシップ

大胆なビジョンを実現するプロセスを示すリーダーが必要。全てを統合・融合する力のあるリーダーシップを（人・企業・産業・環境などあらゆる分野で）

### 新しい日本文化

古代日本×東洋文化×西洋文化×未来（縦糸×横糸）

新しく創るのではなく、あるものを統合・融合し、進化させる。真似や借り物ではない独自性。

内需中心の持続的成長へ

# 日本再生に向けた地域再生特区

## 国家運営

### 【システム】

小規模分散型システムによる運営。  
(外交安保以外は地方へ)

### 【投資銀行】

新しい国家を建設投資するための、平成版日本興業銀行の創設。

### 【地域経営】

中負担・中サービス。

### 【エネルギー】

脱原発と再生可能エネルギー。

### 【外交】

ウィンウィンの逞しい外交。  
鎖国ではなく、日本の強いところで稼ぐ。

### 【当面の施策】

- ① **日本列島の大掃除**  
国土の徹底的な大掃除と安全対策。
- ② **地域再生特区制度**  
日本再生を実現するひな型づくりとしての「地域再生特区の創設」

## 地域づくり・地域再生の理念

### 【理念】

偉大なる共生社会の創造  
-共生とは進化、進化とはバージョンアップなり-

### 【ビジョン】

21世紀世界初『戦略的低エネルギー社会』の建設

### 【大切なこと】

**健康と持続可能性が高いこと**  
(健康や持続可能性を重視するライフスタイル=ロハス)

### 【イメージ】

『光に満ちた日本』『森に浮かぶ国、日本』  
『自然と共にある国、日本』そして「懐かしい未来」

## 変革を後押しする動き

### 【世界からの期待】

世界は、日本の技術やノウハウ、文化、そして人を必要としている。

### 【新しい時代づくりの起爆剤】

国民大集会の開催（地域の人材の発掘。民政自治の組織づくり）。人や組織の動きをヨコに繋げ仕事や仕組みを創る。

### 【日本初の新しい科学技術】

放射線除染、ナノテク、発酵技術など。放射線除染は、新しい科学に道を開く。素材革命で風景優先の地域づくり。

## 地域の再生方策

### 【仕組み】 民政自治

民政自治『新しい公共』により、地域ごとの設計運営で『第二の城下町』=まちづくりを。地域再生特区を活用し、21世紀らしい制度づくりと、人と新しい技術の結集を進める。まちづくりの過程で、美しい風景と新しい産業・雇用を創出し、内需中心の持続的経済発展を実現する。

### 【具体策】 ① 地域の大掃除

“逆”公共事業：国土、風土の再生と再構築、新しい都市と田舎づくり。懐かしい未来(思想や理想の表現としての景観づくり)。

### 【具体策】 ② 産業おこし

その地域に相應しいまちづくりで独自の産業、独自の技術を。  
・ **観光立国**：その土地に相應しい衣食住を、人々が満喫する。  
・ **新しい農業と産業**：地産地消、地場産業育成、特産物の開発、6次産業化(1次+2次+3次)。

### 【具体策】 ③ 地域ごとの教育

- ・ 一人一芸：熟達職業人の育成  
個の花を咲かせる
- ・ 恒心(常に持つ正しい心)醸成
- ・ チームワーク、リーダーシップ
- ・ 最低限の成功を達成できる教育

### 【身近なアクション】

- ・ **絵巻**で示される活動の実践

# 日本再生へ向けての個別プロジェクト

## 民衆

### リーダーシップ

大胆なビジョンを実現するプロセスを示すリーダーが必要。全てを統合・融合する力、リーダーシップを（人・企業・産業・環境などあらゆる分野で）。

### 国民大集会の開催

地域の人材の発掘、民政自治の組織づくり。人や組織の動きをヨコに繋げ仕事や仕組みを創る。組織ではなく、一人ひとりが閉塞感を打ち破る方向性を。

### 新しい科学・技術

新しい科学・技術と低エネルギー時代は、独自の新しい産業の発展、独自性の追求に（ロハス的発想）。スーパーテクノロジーと風土のハイブリッド化。

- ・ ナノテク
- ・ 発酵技術
- ・ 素材革命 など

## 国家戦略

### 戦略的低エネルギーの推進

一気に国全体で低エネルギー消費社会を。そのために法制度、会計制度、企業の行動ルールなどを見直す。国を挙げての取り組みを強力に推進するリーダーシップの確立を。

### 日本列島復元10ヵ年計画

20世紀の負の遺産、乱開発による国土の甚だしい汚れと、自然災害の危険性に対し、国土の徹底的な「大掃除」と「安全対策」を。新しいインフラとして、最初に国が一気に事業を進めておく必要がある。

### 新たな投資銀行の設立

新しい国家を建設投資するための銀行。健康と持続可能性、そして善悪という価値観を絶対に揺るがせにしない金融システム。人・技術・金を集めコーディネートし、投入。

### 新ユーラシア戦略

ユーラシアのなかで日本と長期間にわたって友好関係を築くことができる国をピックアップし、相互にメリットがある形で長期間にわたる経済交流を活発化させていく。

## 産業振興

観光立国10ヵ年計画  
地域が主役となる時代の本格的な地域おこし。その土地にふさわしい衣食住を、まずその土地の人々が満喫。人が伝統と自然に触れ、暮らしを取り戻せば、そこに絆が生まれて元気になれる。土地も光を取り戻し、それを観る人々が集まってくるまち。集まった人々も光を浴びて元気になり、それを持ち帰って自分の土地を輝かせる。

### 新しい農業・産業の確立

地産地消、地場産業育成、特産物開発、6次産業。その土地ですつと心地よく過ごせるよう、その土地に適した生業を確立する。適地適作、地産地消、天産自給の精神で、伝統産業の維持、新しい産業や人材の育成を図る。

### 製造業

非常に熾烈な国際競争にさらされるが、日本の製造業には、全世界から優秀な人材が集まる。

## 経営

### 新品質向上戦略

『クオリティ・ジャパン21』すべての産業において品質向上に向けた取り組みを。生活から仕事から教育から遊びから、すべての分野における取り組み。

### 御用達経営

売り手は買い手にとって最適な商品を「あつらえ」て買い手の用を足す、すなわち「御用達」の実践。

### 持続的経営会計

サステイナブル・アカウンティング・システム。ロハスな国を創るにふさわしい会計制度。

### 土から始まる個人経済復興10ヵ年計画

『農業の義務教育化』これを知っていれば生活や仕事に困らないという最低限の知識・技能のひとつとして、義務教育の中で「農」を教える。失業しても安心して生活できる環境を戦略的につくる。

## アートと教育

### アーティストの活躍

人々に元気を与えていく中心的役割を担うのは、アーティスト。未来の姿を予感させるような絵や写真や映画、皆の気持ちを動かす文章や歌や演劇、ロハスなデザイン、ロハスはスタイルなど。

### 新しい教育システム

- ・ 一人ひとりが開花させる潜在能力の発掘。
  - ・ 組織のチームワークが作り出す相乗効果や、種、空間、時間を越えたコラボレーションが作り出す相乗効果の実現。
  - ・ 人は生涯にわたって企業と学校を自由に行き来する時代。
- <大切なこと>
- ・ 恒心  
（常に持つ正しい心）  
（善悪の分かる心）
  - ・ 個の花を咲かせる
  - ・ チームワーク
  - ・ ヨコ型リーダーシップ
  - ・ 熟達職業人(一人一芸)
  - ・ 日本文化の再認識



# 日本再生

地域の独自性を活かした復興を！ 風土や特色を活かした自立を！  
 小さな実績から積み重ねていこう！ 未来を具体的に作っていこう！

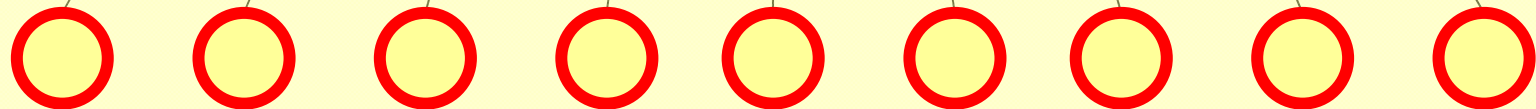
地域再生・日本再生のためのプラットホーム(思いを実践に)

## 日本再生プログラム推進フォーラム

日本再生とは21世紀の新しい文明の創造  
 日本の歴史が示唆する新しい時代へ進化  
 21世紀の文明はローカリゼーションから  
 日本発の健康と持続可能性の高い地球の建設



偉大なる共生社会の創造～共生とは進化なり～



民政自治：全国各地での民衆による取り組み